

コクワガタ

一般的によく見られるクワガタの一種です。

オスは21mm～53mm、メスは19mm～32mmほどの大きさです。

体は、平らで黒色です。オスの大あごは、細長く、先端と前方から1/3あたりに内歯（内側のトゲ）があります。スジクワガタと似ていますが、スジクワガタの上翅（じょうし）には細かな筋があり、コクワガタには無いことで見分けられます。

平地から山地の落葉樹林だけでなく、市街地の街路樹や公園の樹木などでも見られます。

野外で成虫を見られるのは5月～9月ころまでで、夜にクヌギやコナラ、ヤナギなどの落葉樹の樹液に集まります。昼間は、木の洞（うろ）などで休んでいます。

メスは交尾後、落葉樹などの朽木の中に産卵します。孵化（ふか）した幼虫は、その朽木の材を食べて成長し、翌年成虫になります。



富士市での現状

平地から山地のほぼ全域で、確認されました。富士市のクワガタ類の中では、最も広く分布し、個体数も多いです。469号線より標高が高いところでは、あまり見られないようです。

コクワガタを確認したメッシュ

